

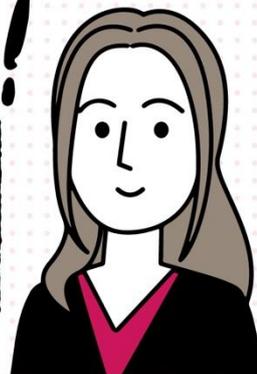
ホテルの価値を上げる!

ホテル清掃
コンサルタント
西山貴代 監修

客室清掃  つうしん | Vol. 17

～ 現場のリアルと清掃テクニック ～

日頃お世話になっているホテル業の皆様役に役立つ情報を提供し、定期的に配信させていただきます。



障害者雇用の事例

現在、人手不足が深刻化する中で、障害者雇用や就労支援事業所と連携し、ホテルの清掃業務などを担っていただく取り組みが進んでいます。そこで今回は障害者雇用を考える方の参考になればと思い、お話いたします。

私が実際に携わったホテルでは、障害者の方々が清掃業務を行っており、特に以下のポイントが重要であることが分かりました。

① 作業内容の明確化

障害者の方々にお願いする作業は、細かく分けて明確に指示することが重要です。各作業を具体的に指示し、一つの作業に集中してもらうことで、品質が安定し、作業効率も向上します。また、作業手順を明確に示すことで、清掃する方が安心して作業に取り組むことができます。

② 支援員との密な連携

障害者の方々が清掃業務を行う際には、就労支援員との連携が不可欠です。支援員を通じて作業依頼や指導を行うことで、円滑なコミュニケーションが可能になり、トラブルを未然に防ぐことができます。また、支援員が障害者の方々の特性や作業能力を把握しているため、適切なサポートが行われます。

③ 作業品質の維持

障害者の方々による清掃の品質に関しては、正確な指示を出すことで一定の品質が保たれます。具体的な指示があることで、清掃の仕上がりが安定し、企業側も安心して業務を任せることができます。また、急な休みや体調不良時には、支援員がフォローアップ体制を整えることで、業務が円滑に進行します。



障害者雇用を検討される際は、これらのポイントを考慮し、支援体制や作業内容の明確化を図ることで、安定した清掃業務の進行と品質の維持が可能になっています。

(株)Clean next 代表取締役 西山貴代

ビジネスからラグジュアリーホテルまで20施設を超える客室清掃に従事。藤田観光株式会社主催の技能コンクールにおいて、2016年、2017年と2年連続受賞。ホテル清掃専門のコンサルタントとして2017年に起業し、ホテル清掃現場での問題、課題をお客様と共に解決に取り組んでいる。



Profile

発行

OHNIT 想像の先を創造する株式会社

(住所) 〒709-0802 岡山県赤磐市桜が丘10-31-2

(TEL) 086-956-2520

ホテル客室脱臭機No.1



バックナンバー